

## 欧州への情報発信を強化「びわこビジターズビューロー」

昨年12月、イタリアのテレビ局が滋賀県内を取材した。29年続く人気番組のクルーで、和菓子店と美術館、酒蔵を回り、イタリア人の女性4人が体験を交えて観光を楽しむ様子を撮影した。

日本政府観光局の調査では、2018年に訪日したイタリア人旅行者は10月時点で12万9600人に達し、過去最高だった17年の年間12万5864人を上回る。番組プロデューサーのロッシさんによると、日本ブームを受けて世界の観光地を巡るシリーズに東京や関西を加え、京都や奈良とともに、京都に近く自然、食、美術館といった多様な魅力がある滋賀を取り上げるという。

23～43歳の4人は、和菓子店「叶匠壽庵」(大津市)で趣のある建物や庭を見学し、茶道の作法や和菓子作りを教わった。人里離れた山の中にある「ミホ・ミュージアム」(甲賀市)では、自然と一体の設計、展示されているエジプトや中国の名品に興味津々だった。湖国を代表する蔵元の一つ「美富久酒造」(同市)では、酒造りの工程を学び、自慢の日本酒を味わった。

撮影を終えたロッシさんは「滋賀はとても良い。お茶も酒蔵も興味深い」と満足そうだった。中でも、ミホ・ミュージアムを「イタリア人はひっそりとした旅先を好む。(ミホだけで)一つの番組になるほど良い素材だ。改めて取材したい」と絶賛していた。

滋賀を紹介する番組は3月下旬の日曜に放送予定で、ロッシさんは「滋賀の多角的な魅力を伝えたい。(番組を観て)滋賀を訪れるイタリア人が増えると思う」と話した。一行を案内した「びわこビジターズビューロー」はフランスに的を絞って誘客に努めてきたが、取材クルーの上々の反応に新たな可能性を感じている。圧倒的な存在感を誇る琵琶湖だけでなく、歴史や文化、伝統、食、そして体験を前面に打ち出した戦略を練り、欧州への情報発信の強化を検討している。

京都新聞社 滋賀本社代表 藤田治久



酒造りの説明を聞くイタリア人の女性たち  
(びわこビジターズビューロー提供)